

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	公園掃除の参加、消防避難訓練への近隣住民の参加といった定期的な交流は出来つつあるが、さらに、地域のニーズや資源を積極的に把握する姿勢をもち、地域交流の機会を増やしていきたい。	地域のボランティア活動との交流、季節ごとの地域行事への参加、ホームの談話室の開放などを通じて地域交流の幅が広がる。	地域の活動に対し日頃から関心を持ち、情報を持ち寄る。特に高倉会館前の広場で行われる地域イベントの見物やボランティアの招き入れに取り組む。運営推進会議を通して、地域住民の方に談話室を利用してもらえる旨伝える。	3ヶ月
2	39	災害時には隣近所の方々の協力が必要である。閑静な住宅地のため外からの声は届きにくい、日常的な近所付き合いを大切に、協力が得やすい状況作りに努めたい。	ホームで行う消防訓練や避難訓練には近隣住民の参加があり、非常時における避難に協力が得られる。	運営推進会議の席で消防避難訓練の日程を伝え、自治会の方の参加をお願いする。訓練や会議の日にはホーム内の見学もしてもらう。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。